

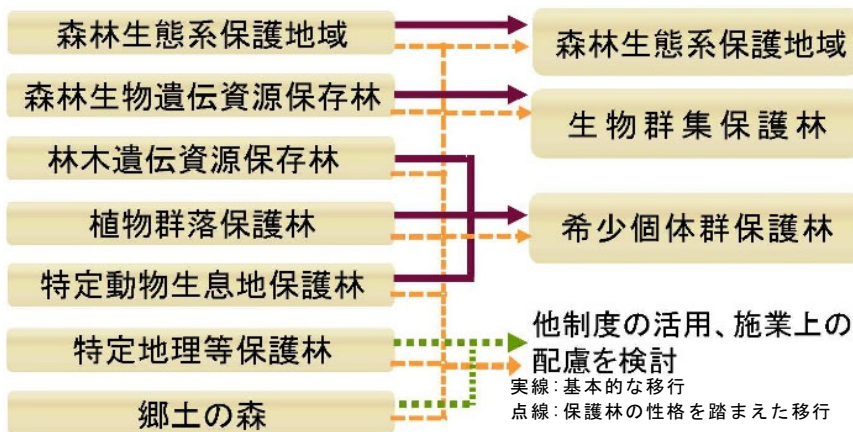
トピックス ～一般会計化後の10年を振り返る～

3. 優れた自然環境を有する森林の維持・保存

奥地脊梁山地に広く所在している国有林野は、希少な野生生物が生育・生息しており、生物多様性の保全の観点から、保護林制度等を通じてこのような森林の適切な保護・管理に取り組んでいます。

平成27年度においては、大正4年に発足した保護林制度について、これまでの生物多様性の保全に対する知見の蓄積等を踏まえ、分かりやすく3区分に再編しました。また、地域の関係者や専門家等の意見を聴きつつ、新規設定や拡充を行い、この10年間で保護林の面積を4.6万ha増加させました。

なお、令和3年には、平成29年度に新たに設けた森林生態系保護地域を含む「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が、我が国で5箇所目となる世界自然遺産^{*}に登録されました。



保護林の区分の見直し



やんばる森林生態系保護地域
(平成29年12月設定)

昆明・モンリオール生物多様性枠組^{*}において2030年までに陸と海の30%以上の区域を保全することが目標として掲げられましたが（30by30目標）、現状で20.5%となっている陸域の保護地域のうち約4割を保護林や緑の回廊をはじめとした国有林野が占めています。今後、環境省が行う国立・国定公園（保護地域）の新規指定・拡張等にも適切に対応していきます。

年度	箇所数	面積(万ha)	主な新規設定等
H25	853	96.8	宮島特定動物生息地保護林(広島県)
H26	855	96.8	地峯水生生物生息地保護林(奈良県)
H27	保護林制度の見直しによる再編		
H28			
H29	666	97.7	やんばる森林生態系保護地域(沖縄県)
H30	667	97.8	猪八重照葉樹林生物群集保護林(宮崎県)
R1	661	97.8	
R2	661	97.8	
R3	661	98.1	新村照葉樹林生物群集保護林(宮崎県)
R4	658	101.4	狩場山・大平山周辺森林生態系保護地域(北海道)

※箇所数と面積は各年度末時点

保護林の設定状況



狩場山・大平山周辺森林生態系保護地域（令和5年3月設定）

区分	面積(万ha)	陸域に占める割合	保護地域に占める割合
保護地域	775	20.5%	100%
うち国有林野	309	8%	40%
保護林	98	3%	13%
緑の回廊	58	2%	8%
その他	152	4%	20%

30by30目標における現状の保護地域

※生物多様性国家戦略^{*}2023-2030(令和5年3月閣議決定)における数値